

宜野湾高校の生徒達へ（40）

2020.8.31

以下は、2学期始業式の校長挨拶です。大切な内容を含んでいるので、学校HPに載せることにしました。

今日は2学期の始業式です。先週金曜日の1学期終業式で1学期を振り返りました。始業式はこれから始まる2学期にどういう心構えで臨むかについて確認したいと思います。

今年は、新型コロナウイルスのために舞台祭をはじめ、多くの学校行事が中止になりました。このような状況で、新型コロナウイルス予防策と充実した学校生活をどうしたら送ることができるか。難しいところです。

今日はまず、8月25日に送られた文部科学大臣メッセージを一部紹介します。皆さんはこのメッセージで触れている内容が実行できているかを確認しながら聴いて下さい。

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気ができてしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くなくても、その後は言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらに皆さんの地域で感染が広がってしまうかもしれません。

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。

すでに、感染した人達が心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例が起きています。こうしたことが皆さんの周りでも起きないように、皆さんにも協力してほしいのです。

また、高齢者や病気がちの人は、感染すると症状が重くなってしまう危険があります。自分は元気だから大丈夫ということではなく、そのような人たちに感染させることがないように、思いやりの気持ちを持ってほしいと思います。

私は1・2年生の出校日に、「コロナ世代」という言葉を使い、「コロナを乗り越えた世代」「どんな困難にも対応できる強い精神力を持った世代」と言えるようになってほしいと話しました。宜野湾高校生には、この状況で何ができるかを、皆でアイデアを出し合い、有意義な学校生活を送るために力を貸してもらいたいと思います。

さて、配付資料に『宜野湾高校の生徒達へ（39）』があると思います。その中で、2期生の長倉さんの文章を取り上げています。これから読みますので、皆さんは文章からイメージされる風景を思い浮かべながら聴いて下さい。

資料の『宜野湾高校の生徒達へ（39）』の上にある写真からわかるように、本校グラウンドのすぐ向こうに海が広がっていた頃の話です。

学校のまわりにはまだ雑草も多く、歩きにくかった路も、

今では平らできれいな舗装道路へと変わっています。

あの路を歩きながら考えた事や見た光景が、目を閉じれば色あせながらも思い出されます。

暑い日も寒い日も、雨の日も風の日も、ひたすら我が校舎へと歩いた路。

目に映る景色は変わっても、母校で学んだ思い出は

いつまでも私の胸の中で変わらずに残っています。

校舎の片すみ、そしてあの頃の先生方の顔は

いつまでもあの頃のままです。

以上が、長倉さんの文章です。『宜野湾高校の生徒達へ（39）』は、本校創立40周年特集号です。ぜひ、目を通して下さい。

私たちは新型コロナウイルスで、これまでとは違った生活を送っています。しかし、本校を卒業した後に、「目を閉じれば、心に浮かんでくる思い出」をつくれるように、知恵を出し合い、学校生活を充実したものにしていきましょう！